

テーマ:「次世代の消費者と事業者の相互理解と信頼構築をめざして」 ～KC's双方向コミュニケーション研究会での実践活動より～

日時 : 2018年2月27日(火) 14:45～15:05
場所 : アルカディア市ヶ谷(私学会館) 4階 鳳凰
参加者 : 消費者団体、教育関係者、学生、事業者、行政ほか約100名
主催者 : 独立行政法人国民生活センター

第1分科会「私たちの暮らし 過去から未来への取組み」で 関西支部会員の川口徳子が、発表を行いました。

<発表内容>

- ・日本ヒープ協議会について
- ・特定非営利活動法人 消費者支援機構関西(KC's)について
- ・KC's「双方向コミュニケーション研究会」について
消費者の権利(消費者市民社会)と公正で良質な市場の実現には
消費者と事業者の協働が不可欠
- ・高齢者・子育て層・大学生との情報・意見交換(実践活動)
- ・日本ヒープ協議会「商品・サービス研究分科会」
ひとり暮らしの若者との情報・意見交換
- ・高齢者・子育て層・大学生の特性と課題
- ・双方向コミュニケーションの長所
相互理解と信頼構築、消費者市民社会の形成に有効
- ・消費者市民社会・消費者志向経営に向けて
 - ・事業活動、消費者志向経営との連動
 - ・消費者市民の消費者志向経営への関心と参画
 - ・次世代を担う若者への働きかけ
- ・次世代の消費者と事業者の相互理解と信頼構築



次世代の消費者と事業者の相互理解と信頼構築

消費者・事業者の双方が互いの存在や想いを認識し協働

消費者

双方向コミュニケーション

事業者

相互理解と信頼構築

消費者志向経営

消費者市民社会

消費者と事業者は相互依存関係にあり、双方の円滑かつ密接なコミュニケーションにより相互理解と信頼構築がなされ、双方に長期的に利益を生み出す持続可能な消費社会、公正で良質な市場づくりが実現する